



～国立がん研究センターがん対策情報センター「患者・市民パネル」の募集について～

■患者・市民パネル

国立がん研究センターがん対策情報センターでは、がん患者、ご家族、市民のそれぞれの立場から、わが国のがん対策についてがん対策情報センターへ提言やがん対策にかかわる情報を周囲のみなさまに広報していただく、いわば「がん対策応援団」の役割をしてくださる「患者・市民パネル」のメンバーを募集します。

【主な活動の内容】

メールやインターネットを通じた活動が主ですが、会議への出席をお願いすることもあります。

- 課題や取り組みへの意見、調査への回答
- がん対策にかかわる活動(講演会の案内など)の広報
- パンフレットやウェブページの情報の見やすさ、わかりやすさなどのチェック
- 意見交換会などの会議への出席

■応募資格

がん対策への関心・熱意・見識を持ち、次の4つの条件をすべて満たしていることが必要です。ただし、国会議員および地方公共団体の議会の議員、常勤の国家公務員を除きます。また、これまでに4年以上「患者・市民パネル」を経験された方の優先度は下がることがあります。

1) 下記(a)(b)のいずれかに該当する方

- (a) がん患者もしくはがん経験者、または現在もしくは過去においてがん患者の家族、介護者、がん患者のサポートに携わったことのある方、もしくは携わろうとしている方
- (b) 上記(a)には該当しないが、適切ながん情報の普及啓発に関心のある方

2) がん対策情報センターの活動を理解し、医療専門家と患者・一般市民の双方の立場を踏まえた活動ができる方

3) 多様な人々と協調し、日本語でうまくコミュニケーションをとれる方、調整できる方

4) 単独または家族の支援により、インターネット・パソコン・電子メールを使うことができる方

メンバー経験者からの声

- がんに関する学びはもちろんですが、地域での活動では経験できない全国の仲間とのふれあいは、私の視野を大きく広げてくれました。そして今そのつながりはパネル終了後も続いていき、私の人生にかけがえのない肥やしになり支えにもなってくれると思っています。地域での患者支援・啓発活動をさらに広げていく力になりました。
- 貴重な出会いの連続でした。似た境遇にある方、同じ思いを抱えた遺族の方等々、全国から集まったパネルのみなさんと出会い対話するたびに、そのしなやかな力強さに勇気づけられました。そして、未来に期待し次世代の健康と幸福を願う皆さんの切実な想いを受け止めて、次世代を育成する仕事を続けていこうという決意を新たにしました。今後も出会った方々との繋がりを大切に、がんと社会をめぐる問題に当事者意識を持って関わり続けるつもりです。
- がんに関する情報があふれるなかで、多くの患者や家族が、正しい情報、必要な情報を求めて苦慮している場面に会うことが少なくありませんでした。活動の一環として、ピアサポートサロンでは「がん対策情報センター」のことを伝え続けてきました。また年2回の検討会での全国の仲間との交流で得たものは私の財産となっています。

■詳細および応募方法

詳細および応募方法については**がん情報サービス(ganjoho.jp)**より、「患者・市民パネル」募集案内および応募フォームをご覧ください。

応募の締め切りは令和3年1月12日(火)(当日消印有効)です。

※1月18日(月)まで延長しました。

